

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふり 氏 がな 名	にし お 西尾 泰広 やすひろ
(研究テーマ名) 近現代日本の地域社会構造に関する研究 一大阪府南王子村（八坂町）の分析を中心に—	
(研究活動実績) 1. 南王子村（1943 年以降は八坂町）の社会構造分析 南王子村および隣接する信太村（いずれも現・和泉市）の昭和戦前期（1920 年代後半～40 年代前半）について、行政（村会）資料などの分析を進めるとともに、同時期に本格化する朝鮮人集住の実態についても関連資料による検討をおこなった。 2. 近現代「大阪」の地域社会構造についての研究 前年度以来の研究にもとづき、それを「大阪歴史協帝国主義研究部会からのコメント—二〇一一年大阪市長選挙について—」として発表した（大阪歴史科学協議会『歴史科学』213 号、2013 年 6 月、34—42 頁）。また、現在の大阪をめぐる諸問題の検討の一環として、女性史総合研究会第 170 回例会において、「大阪から考える—「維新の会」と改憲動向」と題する報告をおこなった（京都市中京区、2013 年 6 月 1 日）。 3. 部落問題とその解決をめざす社会運動の追究 前年度までの作業の継続として、社団法人部落問題研究所蔵「北原泰作文書」の 1930 年代～50 年代の史料の調査をおこない、そのなかから重要史料 51 点を選んで翻刻し、部落問題研究所編・刊『部落問題解決過程の研究 第 3 巻』の資料編 I（同書 177—431 頁）として発表した（2014 年 1 月）。また、「北原泰作文書」の 1960 年代以降の史料調査に着手した。 4. 原子力発電所の立地計画地域における住民運動と社会的諸関係の分析 中部電力による三重県「芦浜原発」計画について、資料調査を進めるとともに、1980 年代～90 年代の状況について検討をおこなった。そこでは、県や電力会社などが計画を強力に推進しようとし、かつて 60 年代には反対運動の中核を担っていた漁協が変質する一方、地域住民・漁民の中から青年や女性など新たな運動主体が現れたことなどを確認することができた。	